

平成26年度第2期えるのす連続講座～女性大学～

社会とつながり、心豊かに 開催結果の概要

月日	演題	講師
9/24 (水)	「障がい」って何だろう	北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科 准教授 和史朗
9/30 (火)	トクホってなんだろう？	藤女子大学人間生活学部食物栄養学科 教授 中河原俊治
10/7 (火)	北海道の女性と社会運動	北海道教育大学札幌校 教授 古村えり子
10/14 (火)	先端生殖技術と私たち	北海道大学安全衛生本部 特任准教授 石井哲也
10/21 (火)	現代の地域社会づくりと女性	札幌学院大学人文学部人間科学科 教授 内田司
10/28 (火)	私たちの生活に優しいユニバーサルデザイン ～UDって何？～	北星学園大学経済学部経営情報学科 教授 鈴木克典
11/4 (火)	日本の食は豊かか	北海道武蔵女子短期大学経済学科 准教授 松木靖
11/18 (火)	サルからヒトへ ～人類進化のはるかな道のり～	札幌国際大学人文学部現代文化学科 専任講師 坂梨夏代
11/25 (火)	中国の異類物語 —動物、妖怪そして怪獣—	北海学園大学法学部法律学科 准教授 中根研一
12/2 (火)	現在（いま）を知る	北海道新聞社 論説委員 貴志雅之

平成26年9月24日（水）

「障がい」って何だろう

北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科 准教授 和史朗

2001年、WHOによりICIDH（国際障害分類）がICF（国際生活機能分類）へと改訂されました。「障害があるからできない」のではなく、「どのような支援があればできるのか」を考える、それがICFの考え方です。講義では、ICFの視点では環境因子を考えることで障害者のスポーツへの参加が可能になること、また、特別支援教育における教育的ニーズ、必要な支援とは何かなどについて、養護学校勤務時の経験談やカウンセリング事例などをふまえながらお話いただき、今後の共生社会の在り方について考えました。



平成26年9月30日（火）

トクホってなんだろう？

藤女子大学人間生活学部食物栄養学科 教授 中河原俊治

食品の三次機能として知られる生体調節機能。これが科学的な方法で証明され国から許可された食品がトクホ（特定保健用食品）で、すでに1000種類以上が市販されています。講義では、トクホやサプリメントとはどのような食品なのか、どのような科学的根拠に基づいているのかについて解説いただくとともに、食生活にどのように役立つのかをお話いただきました。また、いわゆる健康食品を利用する時の注意点や、機能性表示食品制度、北海道での取り組みについても紹介いただき、食生活について考えました。



平成26年10月7日（火）



北海道の女性と社会運動

北海道教育大学札幌校 教授 古村えり子

「北海道の女性は強い」と言われることが多くありますが、それは地域生活を守り充実させるため社会運動を続けてきた歴史に基づいています。講義では、炭鉱主婦協議会で活躍された3名の女性の活動を紹介いただくとともに、普段はあまり目立った活動はしていないが、災害時の炊き出しなど、地域においてさまざまな生活問題が浮上した時にはなくてはならない活動をしている地域婦人会の歴史的役割や、女性の生き方が多様化する中で直面している課題についてお話いただきました。

平成26年10月14日（火）

先端生殖技術と私たち

北海道大学安全衛生本部 特任准教授 石井哲也

「試験管ベビー」の誕生から36年。日本でも累計30万人以上が体外受精で生まれています。また、昨年春からは妊婦の採血だけで染色体異常を高精度に診断できる検査が始まりました。生殖医療の技術的な進歩が年々進む一方で、私たちにはそれを個人として、また、社会として受け入れる準備が整っているのでしょうか。講義では、生殖の科学を解説いただくとともに、生殖の技術について倫理的、法的、社会的観点から多角的にお話いただき、生命倫理について考えました。



平成26年10月21日（火）

現代の地域社会づくりと女性

札幌学院大学人文学部人間科学科 教授 内田司

現在の経済のグローバル化にともなう地域間格差の進行の中で、北海道においても「限界集落」「消滅可能性自治体」といった地域社会の崩壊を招きかねない状況が現れています。こうした消滅の危機に直面している地域社会の「再生」は可能なのでしょうか。講義では、スコットランドにおける地域社会再生の事例を紹介いただきながら、現代の地域社会再生では経済開発より社会開発が求められていること、また、社会開発には女性の活躍が期待されていることなど、地域社会再生への課題や可能性について考えました。



平成26年10月28日（火）

私たちの生活に優しいユニバーサルデザイン～UDって何？～

北星学園大学経済学部経営情報学科 教授 鈴木克典

近年、私たちの生活にユニバーサルデザイン（UD）の考え方が浸透してきており、製品・サービス、建築物、交通施設など多くの分野で活用されています。UDとは「すべての人にとって使いやすいデザイン」というような意味で、多くの人々が利用しやすくなる工夫のことを指します。講義では、数々のピクトグラム（=案内図記号）や先生が携わった空港での実践事例等、UDの考え方が反映されているさまざまな工夫などについてご紹介いただきながら、私たちの身の回りに隠れているUDについて探りました。



平成26年11月4日（火）



日本の食は豊かか

北海道武蔵女子短期大学経済学科 准教授 松本靖

ミシュランの星が世界最多の都市、東京。経済大国日本には世界中の食材が集まり、あらゆる料理が味わえます。その一方、食の安全を脅かす事件の頻発、低い食料自給率、世界全体の食料援助の3倍に達する食品廃棄、肥満人口の増加といった問題が存在しています。講義では、高度経済成長期以降の食生活の変化や食料自給率低下の要因、食を外部に依存している日本の食の現状などについてお話いただきながら、「食の豊かさ」のために私たちにできることは何かについて考えました。

平成26年11月18日（火）

サルからヒトへ～人類進化のはるかなる道のり～

札幌国際大学人文学部現代文化学科 専任講師 坂梨夏代

人類は今からおよそ700万年前にアフリカで誕生したと考えられています。サルからヒトへ、人類はどう進化していったのでしょうか。講義では、人類の歴史やサルとヒトの生物学的分類について、また、私たちに非常に近いといわれている類人猿（チンパンジー、ボノボ）について説明いただくとともに、人類進化の一番大きな特徴である直立二足歩行、そこから起こった問題点、石器の変遷にみる人類の進化、人類の拡散と移動ルートなど、人類の進化の過程をさまざまな視点からお話いただきました。



平成26年11月25日（火）



中国の異類物語—動物、妖怪そして怪獣—

北海学園大学法学部法律学科 准教授 中根研一

古代から21世紀の現代に至るまで、中国には謎の怪獣話が絶えません。奇書「山海経」には各地の山川に産する草木・鳥獣をはじめ鬼神・怪物など空想的かつ怪異な記述が多く、中国の古代神話を知るうえで貴重な書です。講義では、「山海経」にも記されている「九尾の狐」や、日本でも特撮映画、アニメ映画として映像化された「白蛇伝」など、異類との恋愛・結婚・戦いなどを描いた中国文学作品に触れながら、現代にまで語り継がれるその不思議な物語の世界についてお話いただきました。

平成26年12月2日（火）

現在（いま）を知る

北海道新聞社 論説委員 貴志雅之

12月2日、衆議院議員総選挙が公示されました。今回の選挙の争点はどこにあるのでしょうか。講義では、アベノミクスなど、この2年間に行なわれてきた安倍政権の政策を振り返りながら、与党が圧倒的多数の現状の中、安倍首相がなぜこの時期に解散総選挙に打って出たのかについて考えました。また、人口減対策、社会保障、原発再稼働など、今後の生活に直結する問題についても説明いただき、各党の公約を吟味して選挙に臨むことが自分たちの生活を守っていくうえで大切ではないかとお話いただきました。

